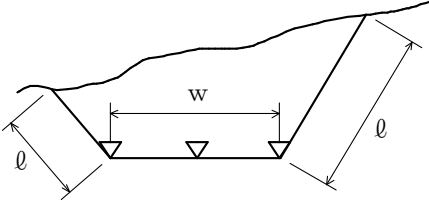
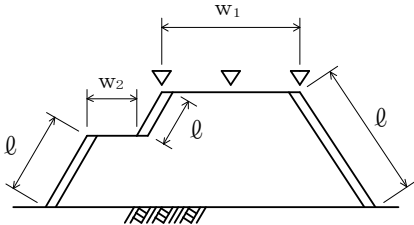
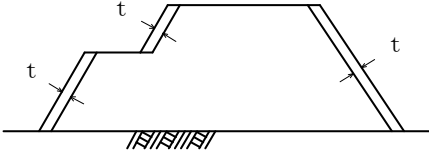


工種		測定項目		規格値(mm)
4 農 道 工 事	掘削工	基準高 ▽		⊕50
		法長 □	□ < 5 m	⊖200
			□ ≥ 5 m	法長 ⊖ 4 %
		幅 w		⊖100
	路体盛土工 路床盛土工	基準高 ▽		⊕50
		法長 □	□ < 5 m	⊖100
			□ ≥ 5 m	法長 ⊖ 2 %
		幅 w ₁ , w ₂		⊖100
	法面整形工 (盛土部)	厚 さ t		※ ⊖30

測定基準	測定箇所	摘要
<p>施工延長 40mにつき 1箇所、延長 40m以下のものは 1箇所につき 2箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40mにつき 1箇所、延長 40m以下のものは 1箇所につき 2箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40mにつき 1箇所、延長 40m以下のものは 1箇所につき 2箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。</p>		

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 農 道 工 事	スファルト舗装工 (下層路盤工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		基準高▽	⊕40	⊕50	—	—
		厚 さ	⊖45	⊖45	⊖15	⊖15
		幅	⊖50	⊖50	—	—
	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8	⊖10
		幅	⊖50	⊖50	—	—

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高、厚さは延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割に測定。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000 m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施行管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m²未満</p> <p>②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満</p> <p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値(X_{10})について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。</p>		

工種		測定項目	規格値(mm)			
			個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
4 農 道 工 事	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8	⊖10
		幅	⊖50	⊖50	—	—
	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖15	⊖20	⊖5	⊖7
		幅	⊖50	⊖50	—	—

測定基準	測定箇所	摘要
<p>幅は、延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000 m² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施行管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m² 未満</p> <p>②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>幅は、延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、2,000 m² 未満は 3 個。2,000 m² 以上は 6 個採取し測定。</p>	<p>コア採取について</p> <p>橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	

工種	測定項目	規格値(mm)				
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
4 農 道 工 事	アスファルト舗装工 (基層工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖9	⊖12	⊖3	⊖4
		幅	⊖25	⊖25	—	—
	アスファルト舗装工 (表層工)		中規模	小規模	中規模	小規模
		厚 さ	⊖7	⊖9	⊖2	⊖3
		幅	⊖25	⊖25	—	—
		平坦性			3mプロファイルメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き)(σ)1.75mm以下	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、2,000 m²未満は 3 個。2,000 m²以上は 6 個採取し測定。</p>	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 2,000 m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模の工事より規模は小さいものの、管理結果を施行管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 未満厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、2,000 m²未満は 3 個。2,000 m²以上は 6 個採取し測定。</p>	<p>コア採取について</p> <p>橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> <p>維持工事（1 箇所当り 300 m²未満）においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	

工種		測定項目	規格値(mm)		
			個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)
4 農 道 工 事	コンクリート舗装工 (下層路盤工)		中規模	小規模	中規模
		基準高▽	⊕40	⊕50	—
		厚 さ	⊖45		⊖15
		幅	⊖50		—
	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	—
		幅	⊖50		—

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高、厚さは延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割に測定。</p>	<p>測定値の平均が合格判定値の範囲外に出た場合は、2,000 m²未満はさらに 3 個 (X₆)、2,000 m²以上はさらに 4 個 (X₁₀) 追加し、これが合格判定値の範囲にあれば良い。</p> <p>工事規模の考え方 中規模とは、1 層当たりの施工面積が 2,000 m²以上とする。 小規模工事とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500t 未満あるいは施工面積が 2,000 m² 未満。</p> <p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	
<p>幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。</p>		

工種	測定項目	規格値(mm)			
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
4 農 道 工 事	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝 青)安定処理工)		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8
		幅	⊖50		—
	コンクリート舗装工 (アスファルト中間 層)		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖9	⊖12	—
		幅	⊖25		—

測定基準	測定箇所	摘要
<p>幅は、延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。もしくは、2,000 m²未満は 3 個。2,000 m²以上は 6 個採取し測定。</p>	<p>測定値の平均が合格判定値の範囲外に出た場合は、2,000 m²未満はさらに 3 個 (X₆)、2,000 m²以上はさらに 4 個 (X₁₀) 追加し、これが合格判定値の範囲にあれば良い。</p> <p>工事規模の考え方 中規模とは、1 層当たりの施工面積が 2,000 m²以上とする。 小規模工事とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500t 未満あるいは施工面積が 2,000 m²未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	
<p>幅は、延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、2,000 m²未満は 3 個。2,000 m²以上は 6 個採取し測定。</p>		

工種	測定項目	規格値(mm)			
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
4 農 道 工 事	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装 版工)	厚 さ	⊖10		⊖3.5
		幅	⊖25		—
		平 坦 性	—		コンクリートの硬化後3 mプロフィルメーター により機械舗設の場合 (σ)2.4mm以下 人力舗設の場合 (σ)3mm以下
		目地段差	⊕2		
	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) 下層路盤工		中規模	小規模	中規模
		基準高▽	⊕40	⊕50	—
		厚 さ	⊖45		⊖15
		幅	⊖50		—
	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) 粒度調整路盤工		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8
		幅	⊖50		—

測定基準	測定箇所	摘要
<p>厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線 40m毎に水糸又はレベルにより 1 測線当たり横断方向に 3 箇所以上測定。幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割で測定。平坦性は各車線毎に版縁から 1 mの線上、全延長とする。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模とは、1 層当たりの施工面積が 2,000 m²以上とする。 小規模工事とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500t 未満あるいは施工面積が 2,000 m² 未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値(X_{10})について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
<p>隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。</p>		
<p>基準高、厚さは延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割に測定。</p>	<p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	
<p>幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。</p>		

工種	測定項目	規格値(mm)			
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
4 農 道 工 事	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) セメント(石灰・瀝 青)安定処理工		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	⊖8
		幅	⊖50		—
	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) アスファルト中間層		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖9	⊖12	—
		幅	⊖25		—
	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工)	厚 さ	⊖15		⊖4.5
		幅	⊖35		—
		平 坦 性			転圧コンクリートの硬化 後, 3mプロフィルメータ ーにより(σ) 3mm以下。
		目地段差	⊕ 2		

測定基準	測定箇所	摘要
幅は、延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、2,000 m ² 未満は 3 個。2,000 m ² 以上は 6 個採取し測定。	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模とは、1 層当たりの施工面積が 2,000 m² 以上とする。</p> <p>小規模工事とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500t 未満あるいは施工面積が 2,000 m² 未満。</p> <p>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
幅は、延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、2,000 m ² 未満は 3 個。2,000 m ² 以上は 6 個採取し測定。	<p>コア採取について</p> <p>橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> <p>維持工事 (1 箇所当り 300 m² 未満) においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
厚さは、各車線の中心付近で型枠据付後各車線 40m 毎に水糸又はレベルにより 1 測線当たり横断方向に 3 箇所以上測定、幅は、延長 40m 毎に 1 箇所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から 1 m の線上、全延長とする。		
隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。		

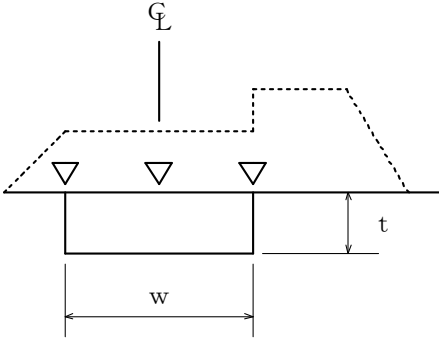
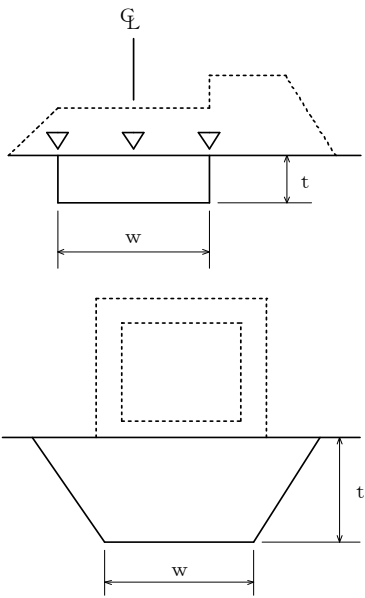
工種	測定項目	規格値(mm)			
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
4 農 道 工 事	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)		中規模	小規模	中規模
		基準高▽	⊕40	⊕50	—
		厚 さ	⊖45		⊖15
		幅	⊖50		—
	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	—
		幅	⊖50		—

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高、厚さは延長 40m毎に 1箇所 の割とし、道路中心線および端部で 測定。幅は、延長 40m毎に 1箇所の 割に測定。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模とは、1層当たりの施工面積 が 2,000 m²以上とする。 小規模工事とは、表層及び基層の加 熱アスファルト混合物の総使用量が 500t 未満あるいは施工面積が 2,000 m² 未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以 上の割合で規格値を満足しなければなら ないとともに、10 個の測定値の平均 値 (X_{10}) について満足しなければなら ない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用 しない。</p>	
<p>幅は、延長 80m毎に 1箇所の割とし、 厚さは、各車線 200m毎に 1箇所を 掘り起こして測定。</p>		

工種	測定項目	規格値(mm)			
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
4 農 道 工 事	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定 処理工		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖25	⊖30	—
		幅	⊖50		—
	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖15	⊖20	—
		幅	⊖50		—
	薄層カラー舗装工 (基層工)		中規模	小規模	中規模
		厚 さ	⊖9	⊖12	—
		幅	⊖25		—

測定基準	測定箇所	摘要
<p>幅は、延長 40m毎に 1箇所割とし、厚さは、延長 40m毎に 1箇所割とし、道路中心線及び端部で測定。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模とは、1層当たりの施工面積が 2,000 m²以上とする。 小規模工事とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500t 未満あるいは施工面積が 2,000 m² 未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>幅は、延長 40m毎に 1箇所割とし、厚さは、2,000 m²未満は 3個。2,000 m²以上は 6個採取し測定。</p>	<p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	
<p>幅は、延長 40m毎に 1箇所割とし、厚さは、2,000 m²未満は 3個。2,000 m²以上は 6個採取し測定。</p>		

工種		測定項目	規格値(mm)
4 農 道 工 事	路床安定処理工	基準高 ∇	$\oplus 50$
		施工厚さ t	$\ominus 50$
		幅 w	$\ominus 100$
		延長 L	$\ominus 200$
	置換工	基準高 ∇	$\oplus 50$
		置換厚さ t	$\ominus 50$
		幅 w	$\ominus 100$
		延長 L	$\ominus 200$
	サンドマット工	施工厚さ t	$\ominus 50$
		幅 w	$\ominus 100$
		延長 L	$\ominus 200$

測定基準	測定箇所	摘要
<p>延長 40m毎に 1 箇所割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 厚さは中心線及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは中心線及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。</p>	